

第35回 日本リウマチ学会 関東支部学術集会



出典：一筆斎国芳「山州富岡製糸場之図」大黒屋平吉、国立国会図書館デジタルコレクション

未来を紡ぐ ～若い力と共に拓くリウマチ学～



会期 2025年12月6日土

会場 Gメッセ群馬

会長 廣村 桂樹 群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 腎臓・リウマチ内科学分野 教授

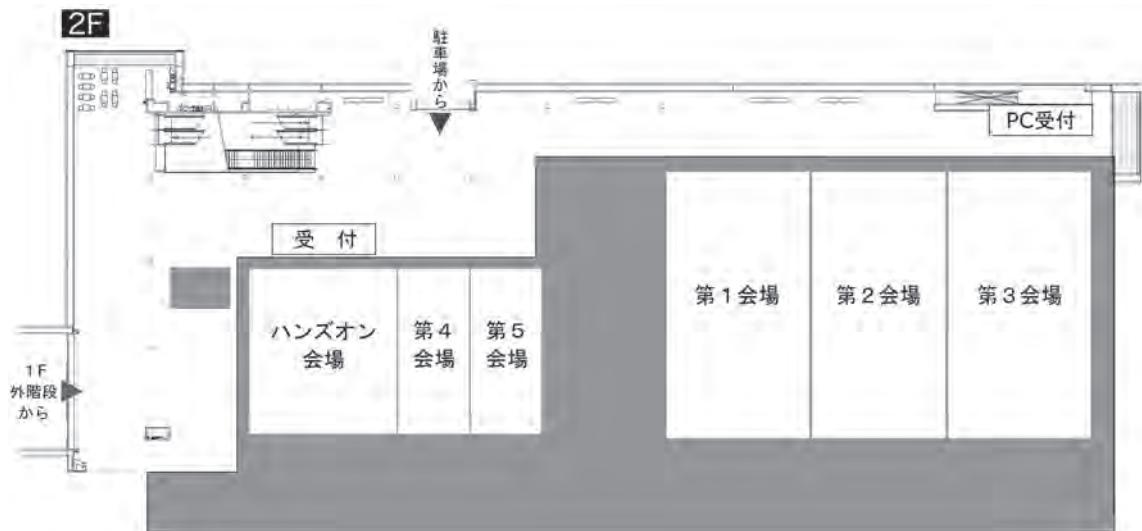
プログラム・抄録集

	第1会場 メインホールA	第2会場 メインホールB	第3会場 メインホールC	第4会場 中会議室202A	第5会場 中会議室202B	第6会場 中会議室201	交流室206
8:30	開会式						
8:40							
8:50	How to treat① 関節リウマチ 座長: 田中榮一・松井利浩 演者: 近藤泰・鈴木翔太郎 今井陽一・鈴木智博	How to treat② 皮膚筋炎・多発性筋炎 座長: 五野貴久・木本直樹 演者: 安倍能之 佐々木広和	How to treat③ SLE 座長: 奥健志・池内秀和 演者: 諏訪鈴也 太田裕一朗	一般演題① 関節リウマチ/その他 座長: 綾部敬生	学生・初期研修医① 血管炎症候群 座長: 高桑由希子	(8:30~ 11:55) ハンズオンセミナー① 関節超音波セミナー 初級編	
9:50						トレーナー: 池田 啓 小笠原倫大 小倉剛久 近藤 泰 瀬戸洋平 中込大樹 峯岸 薫 三好雄二	
10:00	スponサーdセミナー① 座長: 桑名正隆 演者: 金子祐子 共催: 大正製薬株式会社	How to treat④ ANCA関連血管炎 座長: 河野 肇・古田俊介 演者: 中島 墓・高橋達郎	How to treat⑤ 脊椎間節炎 座長: 岸本暢将 多田久里守 演者: 福井 翔・古澤星星	一般演題② SLE/TAFRO症候群 座長: 梶山 浩	学生・初期研修医② 悪性腫瘍/その他 座長: 山下裕之		
11:00							
11:10	スponサーdセミナー② 座長: 松本 功・筑田博隆 演者: 松井利浩・池田佳生 共催: エーザイ株式会社	スponサーdセミナー③ 座長: 緊部敬生・竹内公彦 演者: 秋山光浩・月野 猛 共催: ユーシーピージャパン 株式会社	スponサーdセミナー④ 座長: 三宅幸子 演者: 佐藤浩二郎 共催: ノバルティスファーマ 株式会社	一般演題③ IIM/SJS/MCTD 座長: 安倍能之	学生・初期研修医③ 成人スチル病/その他 座長: 前澤玲華		
12:10							
12:20	ランチョンセミナー① 座長: 黒岩 卓 演者: 亀田秀人・澤 直樹 共催: 中外製薬株式会社	ランチョンセミナー② 座長: 田中榮一 演者: 土屋透香・橋本 求 共催: アステラス製薬株式会社	ランチョンセミナー③ 座長: 宮前多佳子・奥 健志 演者: 清水正樹・池田 啓 共催: 日本イーライリリー 株式会社	ランチョンセミナー④ 座長: 保田晋助 演者: 坪井洋人 共催: アストラゼネカ株式会社	ランチョンセミナー⑤ 座長: 門野夕峰 演者: 佐藤健夫 共催: あゆみ製薬株式会社		
13:20							
13:30	教育研修講演① 座長: 田村直人 演者: 駒形嘉紀 共催: キッセイ薬品工業 株式会社	よく分かる内科① 関節リウマチ 座長: 山岡邦宏 演者: 杉原毅彦	よく分かる整形外科① 関節リウマチの足趾手術 座長: 猪狩 勝則 演者: 針金 健吾	一般演題④ 血管炎症候群① 座長: 長坂憲治	一般演題⑤ 成人スチル病/ ペーチェット病 座長: 桐野洋平	(13:40-16:45) ハンズオンセミナー② 血管超音波セミナー 初級編	
14:30							
14:40	教育研修講演② 座長: 藤尾圭志 演者: 花岡洋成・津田尚法 共催: アクレオノンファーマ 合同会社	よく分かる内科③ 脊椎間節炎 座長: 黒坂大太郎 演者: 神田 浩子	よく分かる整形外科③ 関節リウマチの下肢手術 座長: 永瀬雄一 演者: 泉 売良	一般演題⑥ 血管炎症候群② 座長: 倉沢隆彦	一般演題⑦ 関節炎/その他 座長: 上田優美	トレーナー: 中込大樹 三好雄二 河本敏雄 高畠英輔 間瀬央子	
15:40							
15:50	スponサーdセミナー⑤ 座長: 庄田宏文 演者: 横田和浩 共催: 旭化成ファーマ株式会社	よく分かる内科⑤ 全身性強皮症 座長: 金子 和光 演者: 茂木精一郎	How to treat⑥ 関節リウマチの上肢手術 座長: 小沼賀治・岩本卓士 演者: 松尾知樹 菊地啓士郎・多田拓矢 肥留川恒平	一般演題⑧ 腎障害 座長: 竹内陽一	一般演題⑨ 臨床研究 座長: 近藤 泰	運営委員会	
16:50							
17:00	教育研修 (医療安全) 座長: 廣村桂樹 演者: 田中和美	よく分かる内科⑦ 自己炎症性症候群・ ペーチェット病 座長: 岳野 光洋 演者: 桐野 洋平	How to treat⑦ 関節リウマチの足の手術 座長: 平尾 真・矢野猛一郎 演者: 野口聰明・古間 匠	17:00-17:30 リウマ学会/呼吸器学会/ 感染症学会/ヨイコセミナー/ ワクチン接種 座長: 奥 健志 演者: 関 雅文			
18:00							
18:10	閉会式・表彰式						
18:30							

Gメッセ群馬

〒370-0044 群馬県高崎市岩押町12番24号





第35回日本リウマチ学会 関東支部学術集会

プログラム・抄録集

会期：2025年12月6日(土)

会場：Gメッセ群馬

会長：廣村 桂樹 (群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座
腎臓・リウマチ内科学分野)

学術集会事務局

群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 腎臓・リウマチ内科学分野

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3丁目39-22

事務局長 池内 秀和

運営事務局

一般社団法人会議支援センター

〒104-0041 東京都中央区新富2-4-14 新富田所ビル4階

TEL：03-6222-9871 / FAX:03-6222-9875

E-mail : a-csc@a-csc.org

学術集会ホームページ

<https://www.35jcrkanto.jp/>

CONTENTS

卷頭言	1	抄録	
一般社団法人日本リウマチ学会関東支部	2	How to treat	32
参加者の皆様へ	3	よく分かる内科	39
登壇者へのお願い	4	よく分かる整形外科	47
利益相反の開示について	5	教育研修（医療安全）	51
単位取得のご案内	6	日本リウマチ学会/日本呼吸器学会/	
単位を取得できる講演一覧	8	日本感染症学会 ジョイントセッション	52
プログラム	9	教育研修講演	53
		ランチョンセミナー	56
		スポンサードセミナー	64
		ハンズオンセミナー	71
		一般演題	73
		学生・研修医	100
		協賛団体・企業一覧	109

巻頭言

2025年12月6日（土）、群馬県高崎市・Gメッセ群馬にて「第35回日本リウマチ学会関東支部学術集会」を開催させていただきます。

今回のテーマは「未来を紡ぐ～若い力と共に拓くりウマチ学～」です。群馬県は古くから養蚕業が盛んで、世界遺産・富岡製糸場に象徴されるように日本の近代化を支えてきた地であり、「繭と生糸は日本一」とも称される伝統になぞらえて、リウマチ学においても若い力と共に未来へ向けて一緒に歩んでいこうという思いを込め、このテーマを設定いたしました。

近年、リウマチ性疾患の診療・研究は、分子標的治療の進展、バイオマーカーの活用、新たな免疫調整機構の解明など、目覚ましい発展を遂げています。これらの成果を臨床に確実に結びつけるためには、新しい視点をもつ若い世代の力は不可欠です。本学術集会では、第一線で活躍する専門家と若手医師が一堂に会し、活発な議論と知の交流を通じて新たな知見を共有し、次世代へと受け渡す実り多い学びの場を提供したいと考えております。

プログラムは実践性とわかりやすさを重視しました。「How to treatセッション」では主要なりウマチ性疾患を取り上げ、複数の治療選択肢が想定される症例を提示しながら、参加者とともに治療方針を検討します。「よく分かる内科／整形外科」では、内科系8疾患と整形外科系4疾患について、各分野を代表する講師が、これからリウマチ学を学ぶ学生・研修医・専攻医の皆さんはもちろん、知識のアップデートを志向される開業医の先生方にも理解しやすい形で解説します。さらに、初学者を対象とした「ハンズオンセミナー」では関節超音波に加えて血管超音波も実施し、明日からの診療に直結する技能の習得を支援します。企業のご支援による教育研修講演2題、ランチョンセミナー5題、スポンサードセミナー5題では、オピニオンリーダーの先生方に最新の知見をご講演いただく予定です。あわせて、JCR関東支部地域教育研修会では医療安全をテーマに取り上げ、日本リウマチ学会専門医の更新に必要な単位の取得が可能です。そして、一般演題は52題、学生・初期研修医演題は15題の発表を予定しており、症例を通じて若手とベテランが自由闊達に議論し、臨床に根ざした知の共有がなされることを期待しています。

開催地の高崎市は群馬の玄関口として発展してきた交通の要衝であり、東京から新幹線で約1時間とアクセスも至便です。会場のGメッセ群馬は高崎駅から約1kmに位置し、当日は高崎駅と会場を結ぶシャトルバスを運行して、参加される皆様の円滑なご来場を支援いたします。

本学術集会を通じて、リウマチ学のさらなる発展と、未来を担う人材の育成に寄与できれば幸いです。多くの先生方のご参加と活発なご討議を、心よりお待ち申し上げます。

第35回日本リウマチ学会関東支部学術集会

会長 廣村 桂樹

（群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 腎臓・リウマチ内科学分野）

一般社団法人 日本リウマチ学会関東支部

■ 関東支部

支部長

田村 直人（順天堂大学医学部膠原病・リウマチ内科）

副支部長

門野 夕峰（埼玉医科大学病院 整形外科・脊椎外科）

松本 功（筑波大学医学医療系内科膠原病・リウマチ・アレルギー）

■ 関東支部運営委員

天野 宏一（埼玉医科大学総合医療センターリウマチ・膠原病内科）

猪狩 勝則（東京女子医科大学整形外科）

池田 啓（獨協医科大学リウマチ・膠原病内科）

稻葉 裕（横浜市立大学医学部整形外科）

岡邨 興一（群馬大学医学部整形外科）

田中 栄一（東京女子医科大学膠原病リウマチ内科）

坪井 洋人（筑波大学医学医療系内科膠原病・リウマチ・アレルギー）

中島 新（東邦大学医療センター佐倉病院整形外科）

松井 利浩（相模原病院臨床研究センターリウマチ性疾患研究部）

三宅 幸子（順天堂大学医学部免疫学）

参加者の皆様へ

[参加受付]

学術集会にご参加いただいくにあたり、必ず参加受付を行ってください。

▷場 所：Gメッセ群馬2F ホワイエ

▷受付時間：12月6日（土） 7：30～16：00

▷参 加 費：一般（会員・非会員問わず）5,000円（税込み）

医学部生・医学研究科大学院生・臨床研修医 無料

※事前参加登録はございません。

※現金のみの取り扱いとなります。

※学生と臨床研修医の参加費は無料です。

※学生の方は学生証、臨床研修医の方は所属長からの証明書（書式自由）を受付にご呈示ください。

※証明書の書式は大会ウェブサイトからダウンロードできます。

※証明書がない場合は、参加費（5,000円）を申し受けます。

※後日証明書を提出いただいても、参加費の返金はいたしません。

[抄録集]

・紙媒体での発行はございません。学術集会HPより閲覧、ダウンロードください。

[クローケ]

クローケの設置はございません。

各会場内後方にお荷物置き場を設置しますのでご利用ください。

※貴重品は各自で管理ください。

[ハンズオンセミナー]

・事前参加登録となります。学術集会HP「ハンズオンセミナー」よりお申込みください。

・ハンズオンセミナーのみ参加の方も、学術集会の参加登録が必須となります。

[その他]

・講演会場内での許可のない撮影、及び録音は禁止します。

・講演会場内では携帯電話は電源をお切り頂くかマナーモードに設定の上、通話はご遠慮ください。

登壇者へのお願い

[座長の先生へ]

- ・ご担当のセッションの開始時間15分前までに会場にお越しいただき、次座長席におつきください。
- ・進行は時間厳守でお願いいたします。
- ・一般演題座長の先生は下記「優秀演題賞」の選考をお願いいたします。

[優秀演題賞について]

- ・一般演題の各セッションから1名に「優秀演題賞」を授与いたします。
- ・一般演題座長の先生は当日、「優秀演題賞」の選考をお願いいたします。
※当日、セッション開始前に、会場の運営スタッフから選考用紙をお渡しいたします。
1名を選考のうえ、運営スタッフにお渡しください。
- ・閉会式において優秀演題賞の表彰を行います。

[演者の先生へ]

- ・口演発表用のPowerPointスライドをご用意ください。
- ・発表予定時間の30分前までにPC受付に発表スライドをご登録ください。
- ・ご発表時間の10分前までに、会場前方の次演者席におつきください。
- ・一般演題の演者の先生方は、上記優秀演題賞の表彰がございますので閉会式にご参加をお願い致します。
- ・発表時間は以下の通りです。

セッション名	発表時間
よく分かる内科／整形外科	発表25分 質疑5分
一般演題	発表7分 質疑3分

[PC受付]

場 所	Gメッセ群馬 2F ホワイエ
受付時間	12月6日（土）7:30～16:30

[講演機材について]

講演会場には下記の発表機材を用意いたします。発表スライドが下記の環境で動作するか、必ずご確認ください。

- ▷PC : Windows 11
- ▷ソフトウェア : Microsoft PowerPoint 365

[発表スライドについて]

下記の仕様に従い作成してください。

- ・文字化けを防ぐため、Windows 標準のフォントをご利用ください。
- ・画面サイズは【FullHD（1920×1080）、横：縦=16：9】を推奨しております。
- ・ファイル名は【セッション名_氏名】としてください。
例：一般演題1_リウマチ太郎
- ・スライドデータはUSBメモリ等に入れてお持ちください。

- ・動画や音声ファイルがある場合は、必ずオリジナルデータも一緒にUSBメモリに保存してください。
- ・お持ちいただくデータは、最新のウイルス駆除ソフトでスキャンしてください。

[PCの持ち込みについて]

Macintosh、もしくはご自身のPCで発表をご希望の場合は、下記をご確認の上、PCをお持ち込みください。

- ・PC受付にて必ず動作確認をしてください。
- ・PCにHDMI出力端子が無い場合は、必ず変換コネクタをご持参ください。
- ・電源アダプターを必ずお持ちください。

利益相反の開示について

[開示について]

本学術集会での演題発表者は、利益相反の有無にかかわらず、発表時にその開示を行う必要がります。

詳細は【一般社団法人日本リウマチ学会における事業活動の利益相反（COI）に関する指針】をご確認ください。

<https://www.ryumachi-jp.com/guidance/coi/>

[開示方法]

開示用スライドを作成し、発表スライドの1枚目に挿入してください。スライド見本は大会HPからダウンロード頂けます。

<https://www.35jcrkanto.jp/>

[申告の対象者]

筆頭発表者、及びその配偶者、一親等内の親族、生計を共にする者も含めて、演題提出時から遡り過去3年間における利益相反状態の有無を申告してください。

詳細は【一般社団法人日本リウマチ学会「事業活動の利益相反に関する指針」の細則】をご参照ください。

<https://www.ryumachi-jp.com/pdf/COI.pdf>

[利益相反の基準]

【一般社団法人日本リウマチ学会「事業活動の利益相反に関する指針」の細則】に記載の項目を基準として申告ください。

<https://www.ryumachi-jp.com/pdf/COI.pdf>

[利益相反に関するお問い合わせ]

一般社団法人 日本リウマチ学会

〒105-0013 東京都港区浜松町2-9-6 浜松町エムプレスビル3階

TEL: 03-6435-9761 / FAX: 03-6435-9762

Email: gakkaih@ryumachi-jp.com

単位取得のご案内

[日本リウマチ学会 専門医]

- ・本学術集会への参加で5単位を取得できます。

参加単位

- ・JCR会員アプリを利用されている方

「学会事務局」デスクにてJCR会員アプリ内の会員証QRコードをご提示ください。

※JCR会員アプリを利用されているが、当日お忘れの方

会期終了後、本会参加証を撮影して、マイページの自己申告単位申請画面からアップロードをしてください。

- ・JCR会員アプリを利用されていない方

専門医手帳をご持参ください。学会参加受付後「学会事務局」デスクにて専門医手帳をご提出ください。また、ネームカードのコピーでも申請可能ですので、紛失しないよう保管してください。

発表単位(筆頭演者) 5単位

- ・JCR会員アプリを利用されている方

抄録集の該当部分を撮影して、マイページの自己申告申請画面からアップロードしてください。

- ・JCR会員アプリを利用されていない方

抄録集のコピーを申請時にご提出ください。

[各種講演単位の申請に関するご注意]

- ・単位を取得される方は次ページの「単位を取得できる講演一覧」をご確認ください。
- ・単位申請書は受付付近の記名台に設置いたします。単位申請をご希望の方は講演開始時刻までに、申請書を受付までご提出ください。
- ・講演会場へは定時に入場して下さい。途中入退場される場合は単位を取得できません。
- ・申請料の払い戻しは致しませんのでご注意ください。
- ・単位を必要としない方の聴講は無料です。
- ・以下いずれの研修会も、重複した時間での講演は1つのみの選択となります。

[日本リウマチ学会 教育研修会]

- ・教育研修会の受講で1単位取得できます。

- ・ご希望の方は申請料（1単位につき1,000円）を添えて申請書を受付までご提出ください。

[日本リウマチ財団 登録医／リウマチケア専門職 教育研修会]

- ・ご希望の方は申請料（1単位につき1,000円）を添えて申請書を受付にご提出ください。申請と引き換えに単位取得証明書をお渡しいたします。

[日本整形外科学会 教育研修会]

- ・ご希望の方は申請料（1単位につき1,000円）を添えて申請書を単位受付にご提出ください。
- ・講演受講の際に日整会アプリ「JOINTS」のQRコードが必要です。会場入口のカードリーダーで出席登録をしてください。※講演開始10分前～講演開始10分後まで
- ・「JOINTS」のQRコードがない場合は、カードリーダー脇のリストに必要事項をご記入ください。
- ・研修医の方は、研修手帳の押印欄に「ホームページ参照」と記載してください。

[日本専門医機構認定共通講習]

- ・【JCR関東支部地域教育研修会】は、専門医共通講習(医療安全)として認定されています。ご希望の方は、申請書を単位受付にご提出ください。申請と引き換えに、専門医共通講習受講証明書をお渡しいたします。

単位を取得できる講演一覧

時間	セッション名	演者	演題名	リウマチ学会	リウマチ財団登録医	日整会
8:30 -11:55	ハンズオン セミナー①	①池田 啓	関節超音波セミナー初級編		07-213-01	
10:00 -11:00	スポンサー ^ド セミナー①	②金子 祐子	次世代抗体オゾラリズマブの臨床的意義と展望		07-214-01	N[1,6]R
11:10 -12:10	スポンサー ^ド セミナー②	③松井 利浩 ③池田 佳生	リウマチ専門医におさて欲しい認知症診療 update		07-214-02	N[1,6]R
	スポンサー ^ド セミナー③	④秋山 光浩 ④望月 猛	脊椎関節炎の病態理解と治療の進化 ～ビキズマブの可能性を探る～ TNF阻害薬を再考する—セルトリズマブ・ベゴルの可能性—			N[6,7]SS
	スポンサー ^ド セミナー④	⑤佐藤 浩二郎	新規治療薬から考えるAOSDの病態メカニズム			N[1,6]R
12:20 -13:20	ランチョン セミナー①	⑥亀田 秀人 ⑥澤 直樹	RAにおけるIL-6阻害療法の軌跡 Nephro-rheumatologistのCKD合併関節リウマチの治療戦略		07-215	N[1,6]R
	ランチョン セミナー②	⑦土屋 遥香 ⑦橋本 求	滑膜解析に基づく抗リウマチ薬の作用機序の理解 RA診療におけるJAK阻害薬の役割 ～スマイル全例調査をふまえて			N[1,6]R
	ランチョン セミナー③	⑧池田 啓 ⑧清水 正樹	関節リウマチ治療にJAK阻害薬・バリシチニブがもたらしたもの 若年性特発性関節炎に対するバリシチニブ治療			N[1,6]R
	ランチョン セミナー④	⑨坪井 洋人	Treat to Target (T2T)に基づくSLE診療におけるアソシエイテッドカルニーズとその解決に向けた生物学的製剤のBest Use			N[1,6]R
	ランチョン セミナー⑤	⑩佐藤 健夫	バイオシミラー（バイオ後続品）と オーソライズド・ジェネリック その基本、最近の知見、医療制度での位置づけ			N[1,6]R
13:30 -14:30	教育研修講演①	駒形 嘉紀	ANCA関連血管炎治療におけるアバコバンの役割			N[1,6]R
13:40 -16:45	ハンズオン セミナー②	⑪田村 直人	血管超音波セミナー初級編		07-213-02	
14:40 15:40	教育研修講演②	花岡 洋成 津田 尚法	膠原病診療に潜む低ホスファターゼ症 リウマチ外来で経験する成人型低ホスファターゼ症の診断・治療			N[1,6]R
15:50 -16:50	スポンサー ^ド セミナー⑤	⑫横田 和浩	関節リウマチにおけるIL-6阻害薬の意義 ：骨代謝と免疫系の制御の観点を交えて		07-214-03	N[1,6]R
17:00 -18:00	JCR関東支部地域 教育研修会	⑬田中 和美	患者中心の医療と医療安全	医療安全	07-213-03	N[14-5]

【日本リウマチ財団 リウマチケア専門職 [認定番号] カリキュラムコード】※最大 6 単位まで取得可能

①(07-205K-Y-R-1) 3.5単位

②(-2)/③④⑤(-3)/⑥⑦⑧⑨⑩(-4)/⑪(-5)/⑫(-6) 各1単位

⑪(-7) 3単位

看護師 [07-205K-01~13]

①②④~⑨⑪2-1 ③⑩⑫2-1・2-2 ⑪3-2

薬剤師 [07-205Y-01~13]

①~③⑥⑩⑪2-1 ⑬3-2 ④⑤⑧⑫2-2 ⑦⑨2-1・2-2

理学・作業療法士 [07-205R-01~13]

①③⑥⑪⑫2-1 ②⑦⑨⑩2-1・2-2 ④⑤⑧2-2 ⑬3-2

【日本整形外科学会教育研修講演】

取得単位：[N] 日整会専門医 [R] リウマチ医 [SS] 脊椎脊髄病

必須分野：[1] 整形外科基礎科学 [6] リウマチ性疾患・感染症 [7] 脊椎・脊髄疾患 [14-5] 1~13に当てはまらない領域講習

プログラム

[2025年12月6日(土)]

第1会場

8:50-9:50

How to treat① 関節リウマチ

P.32

座長：田中 燐一（東京女子医科大学膠原病リウマチ内科学分野）

松井 利浩（国立相模原病院臨床研究センターリウマチ性疾患研究部）

近藤 泰（慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科）

鈴木 翔太郎（聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科）

今井 陽一（群馬大学医学部附属病院腎臓・リウマチ内科）

鈴木 智博（国立病院機構相模原病院リウマチ科）

10:00-11:00

スポンサードセミナー①

P.64

座長：桑名 正隆（日本医科大学大学院医学研究科アレルギー膠原病内科学分野）

共催：大正製薬株式会社

SS1 次世代抗体オゾラリズマブの臨床的意義と展望

慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科

金子 祐子

11:10-12:10

スポンサードセミナー② 高齢者医療としてのRAと認知症 ～抗Aβ抗体薬時代の診療とは

P.65

座長：松本 功（筑波大学膠原病・リウマチアレルギー内科学）

筑田 博隆（群馬大学大学院医学系研究科整形外科学）

共催：エーザイ株式会社

SS2-1 高齢リウマチ患者の現状と課題～認知機能低下時のRA診療を考える～

国立病院機構相模原病院 臨床研究センター リウマチ性疾患研究部

松井 利浩

SS2-2 リウマチ専門医におさえて欲しい認知症診療 update

群馬大学大学院 医学系研究科 脳神経内科学

池田 佳生

12:20-13:20

ランチョンセミナー① IL-6阻害療法20年が切り拓くRA治療の新時代

P.56

座長：黒岩 卓（群馬リウマチクリニック）

共催：中外製薬株式会社

プログラム

LS1-1 RAにおけるIL-6阻害療法の軌跡

東邦大学内科学講座膠原病学分野

亀田 秀人
かめだ ひでと

LS1-2 Nephro-rheumatologistのCKD合併関節リウマチの治療戦略

虎の門病院 リウマチ膠原病科 腎センター

澤 直樹
さわ なおき

13:30-14:30

教育研修講演①

P.53

座長：田村 直人（順天堂大学大学院医学研究科膠原病・リウマチ内科学）

共催：キッセイ薬品工業株式会社

EL1 ANCA関連血管炎治療におけるアバコパンの役割

杏林大学 腎臓・リウマチ膠原病内科

駒形 嘉紀
こまがた よしひ

14:40-15:40

教育研修講演② 身近に潜む希少疾患：

低ホスファターゼ症 (HPP) の診断意義

P.54

座長：藤尾 圭志（東京大学大学院医学系研究科内科学専攻アレルギー・リウマチ学）

共催：アレクシオンファーマ合同会社

EL2-1 膠原病診療に潜む低ホスファターゼ症

埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科

花岡 洋成
はなおか ひろなり

EL2-2 リウマチ外来で経験する 成人型低ホスファターゼ症の診断・治療

国立健康危機管理研究機構 国立国府台医療センター リウマチ・膠原病科

津田 尚法
つだ なおのり

15:50-16:50

スポンサードセミナー⑤

P.70

座長：庄田 宏文（東京医科大学リウマチ・膠原病内科）

共催：旭化成ファーマ株式会社

SS5 関節リウマチにおけるIL-6阻害薬の意義：骨代謝と免疫系の制御の観点を交えて

埼玉医科大学 リウマチ膠原病科

横田 和浩

17:00-18:00

教育研修（医療安全）

P.51

座長：廣村 桂樹（群馬大学大学院医学系研究科腎臓・リウマチ内科学）

患者中心の医療と医療安全

群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学

田中 和美

第2会場

8:50-9:50

How to treat② 皮膚筋炎・多発性筋炎

P.33

座長：五野 貴久（日本医科大学大学院医学研究科アレルギー膠原病内科学分野）

木村 直樹（横須賀共済病院膠原病・リウマチ内科）

安倍 能之（順天堂大学膠原病・リウマチ内科）

佐々木 広和（東京科学大学膠原病・リウマチ内科学）

10:00-11:00

How to treat④ ANCA関連血管炎

P.35

座長：河野 肇（帝京大学医学部内科学講座リウマチ・膠原病）

古田 俊介（千葉大学大学院医学研究院アレルギー・臨床免疫学）

中島 墓（帝京大学医学部リウマチ・膠原病）

高橋 達郎（千葉大学大学院医学研究院 アレルギー臨床免疫学）

11:10-12:10

スポンサードセミナー③ 未来を紡ぐ～若い力と共に拓くリウマチ学～

P.67

座長：綾部 敬生（慶友整形外科病院）

竹内 公彦（伊勢崎福島病院）

共催：ユーシービージャパン株式会社

SS3-1 脊椎関節炎の病態理解と治療の進化～ビメキズマブの可能性を探る～

慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科

あきやま みつひろ

秋山 光浩

SS3-2 TNF阻害薬を再考する—セルトリズマブ・ペゴルの可能性—

鎌ヶ谷総合病院 整形外科

もちづきたけし

望月 猛

12:20-13:20

ランチョンセミナー② リウマチ膠原病疾患の最新の話題と

抗リウマチ薬の適正使用

P.58

座長：田中 榮一（東京女子医科大学膠原病リウマチ内科学分野）

共催：アステラス製薬株式会社

LS2-1 滑膜解析に基づく抗リウマチ薬の作用機序の理解

東京大学大学院医学系研究科 アレルギー・リウマチ学

つちや はるか

上屋 遥香

LS2-2 RA診療におけるJAK阻害薬の役割—ペフィシチニブ全例調査をふまえて

大阪公立大学大学院医学研究科 膜原病内科学

はしもともとむ

橋本 求

13:30-14:00

よく分かる内科① 関節リウマチ

P.39

座長：山岡 邦宏（北里大学医学部リウマチ・膠原病内科）

関節リウマチ

東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野

すぎはら たかひこ

杉原 賀彦

14:00-14:30

よく分かる内科② SLE・ループス腎炎

P.40

座長：矢嶋 宣幸（昭和医科大学病院リウマチ膠原病内科）

ループス腎炎の管理に関する臨床実践ガイドラインKDIGO 2024から臨床医が得るべき10のポイント

東京女子医科大学 医学部 膜原病リウマチ内科学分野
かつまた やすひろ
勝又 康弘

14:40-15:10

よく分かる内科③ 脊椎関節炎

P.41

座長：黒坂 大太郎（東京慈恵会医科大学）

脊椎関節炎

東京大学大学院医学系研究科 免疫疾患治療センター
かんだ ひろこ
神田 浩子

15:10-15:40

よく分かる内科④ シェーグレン症候群

P.42

座長：天野 宏一（埼玉医科大学総合医療センターリウマチ・膠原病内科）

ゼロから学ぶ学びなおすシェーグレン病（Sjogren's disease; SjD）の診療
～病態から分子標的治療薬の開発まで～

筑波大学 医学医療系 膜原病リウマチアレルギー内科学
つばい ひろと
坪井 洋人、杉浦 碧海、東光 裕史、安部 沙織、浅島 弘充、近藤 裕也、松本 功

15:50-16:20

よく分かる内科⑤ 全身性強皮症

P.43

座長：金子 和光（群馬大学医学部附属病院腎臓・リウマチ内科）

全身性強皮症の診療アップデート：疾患理解と治療戦略の最前線

群馬大学大学院医学系研究科皮膚科学
もてぎ せいいちろう
茂木 精一郎

16:20-16:50

よく分かる内科⑥ 血管炎症候群

P.44

座長：川畑 仁人（聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科）

血管炎症候群

市立青梅総合医療センター
ながおか けんじ
長坂 憲治

17:00-17:30

よく分かる内科⑦ 自己炎症性症候群・ベーチェット病

P.45

座長：岳野 光洋（日本医科大学武藏小杉病院リウマチ・膠原病内科）

周期性発熱の鑑別から迫る成人自己炎症性症候群の診断

横浜市立大学大学院医学研究科 幹細胞免疫制御内科学

桐野 洋平

17:30-18:00

よく分かる内科⑧ 妊婦とリウマチ性疾患

P.46

座長：横川 直人（東京都立多摩総合医療センターリウマチ膠原病内科）

リウマチ性疾患における妊娠管理

埼玉医科大学 リウマチ膠原病科

舟久保 ゆう

第3会場

8:50-9:50

How to treat③ SLE

P.34

座長：奥 健志（東海大学医学部内科系リウマチ内科）

池内 秀和（群馬大学大学院医学系研究科腎臓・リウマチ内科）

諫訪 純也（群馬大学医学部附属病院腎臓・リウマチ内科）

太田 裕一朗（東海大学医学部内科系リウマチ内科）

10:00-11:00

How to treat⑤ 脊椎関節炎

P.36

座長：岸本 暢将（聖路加国際病院リウマチ膠原病センター）

多田 久里守（順天堂大学膠原病・リウマチ内科）

福井 翔（杏林大学救急総合診療科（総合医療学教室））

吉澤 星子（順天堂大学・膠原病・リウマチ内科）

11:10-12:10

スポンサードセミナー④

P.69

座長：三宅 幸子（順天堂大学医学部免疫学）

共催：ノバルティスファーマ株式会社

SS4 新規治療薬から考えるAOSDの病態メカニズム

自治医科大学 内科学講座 アレルギー膠原病学部門

佐藤 浩二郎
さとう こうじろう

12:20-13:20

ランチョンセミナー③ JAK阻害薬の有効性と安全性

P.60

座長：宮前 多佳子（東京女子医科大学 膜原病リウマチ内科学分野）

奥 健志（東海大学医学部 内科学系リウマチ内科学）

共催：日本イーライリリー株式会社

LS3-1 若年性特発性関節炎に対するバリシチニブ治療

東京科学大学 小児科/茨城県小児・周産期地域医療学講座

清水 正樹
しみず まさき

LS3-2 関節リウマチ治療にJAK阻害薬・バリシチニブがもたらしたもの

獨協医科大学 リウマチ・膠原病内科

池田 啓
いけだ けい

13:30-14:00

よく分かる整形外科① 関節リウマチの足趾手術

P.47

座長：猪狩 勝則（東京女子医科大学整形外科）

よく分かるリウマチ学－整形外科編「関節リウマチの足趾手術」

¹横浜市立大学附属市民総合医療センター リウマチ膠原病センター、²横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科、³横浜市立大学 整形外科針金 健吾¹、持田 勇一¹、高島 寛之¹、小林 直実²、稻葉 裕³

14:00-14:30

よく分かる整形外科② リウマチ性疾患の大腿骨頭壊死症

P.48

座長：中村 順一（千葉大学大学院医学研究院整形外科）

千葉大学大学院医学研究院整形外科

萩原 茂生
はぎわら しげお

14:40-15:10

よく分かる整形外科③ 関節リウマチの下肢手術

P.49

座長：永瀬 雄一（東京都立多摩総合医療センター整形外科・リウマチ外科）

関節リウマチの下肢手術療法

—リウマチ内科医と整形外科医との連携の重要性—

さいたま赤十字病院 整形外科

いずみあきら

泉 亮良

15:10-15:40

よく分かる整形外科④ 関節リウマチと骨粗鬆症について

P.50

座長：中島 新（東邦大学医療センター佐倉病院整形外科・リハビリテーション科）

関節リウマチと骨粗鬆症

自治医科大学 整形外科

まつもと たくみ

松本 卓巳

15:50-16:50

How to treat⑥ 関節リウマチの上肢手術

P.37

座長：小沼 賢治（北里大学医学部整形外科学）

岩本 卓士（慶應義塾大学医学部整形外科学教室）

まつお ともき
松尾 知樹（荻窪病院整形外科 / 慶應義塾大学医学部整形外科）きくち けいしろう
菊地 啓士朗（さいたま市立病院整形外科 / 慶應義塾大学医学部整形外科）ただ たくや
多田 拓矢（北里大学医学部整形外科学（大学院医療系研究科））ひるかわ こうへい
肥留川 恒平（北里大学医学部整形外科学（大学院医療系研究科））

17:00-18:00

How to treat⑦ 関節リウマチの足の手術

P.38

座長：平尾 真（日本医科大学整形外科）

やの こう一郎（東京女子医科大学整形外科）

の ぐち たかあき
野口 貴明（大阪大学医学部整形外科）こせ きたくみ
古関 匠（東京女子医科大学整形外科）

08:50-09:50

一般演題① 関節リウマチ/その他

P.73

座長：綾部 敬生（慶友整形外科病院）

O1-1 関節リウマチ患者の巨大骨囊腫（geodes）を有する膝関節障害に対して人工膝関節置換術を行った一例

¹公立藤岡総合病院 整形外科、²群馬大学大学院 医学系研究科 整形外科学、³よねもと整形外科
リウマチ・骨粗しょう症クリニック、⁴深谷赤十字病院 整形外科

○坂根 英夫^{1,2}、須藤 貴仁²、米本 由木夫³、西川 和博²、岡郵 興一³、伊藤 崇^{2,4}、
筑田 博隆²

O1-2 肺非結核性抗酸菌症既往を背景に治療選択に制限を受けた関節リウマチ患者に対する滑膜切除の経験

¹群馬大学大学院医学系研究科 整形外科学、²公立藤岡総合病院 整形外科、³深谷赤十字病院 整形外科

○西川 和博¹、須藤 貴仁¹、伊藤 崇³、坂根 英夫²、筑田 博隆¹

O1-3 関節リウマチに対してトリリズマブ導入後に再発したリンパ増殖性疾患の一例

¹深谷赤十字病院 整形外科、²群馬大学大学院医学系研究科 整形外科学、³公立藤岡総合病院 整形外科

○伊藤 崇^{1,2}、坂根 英夫^{2,3}、西川 和博²、須藤 貴仁²、筑田 博隆²

O1-4 関節リウマチ様の手指骨びらん像を呈した成人慢性非細菌性骨炎の一例

¹東京大学医学部附属病院 アレルギー・リウマチ内科、²東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科

○青木 秀平¹、美野 名波¹、亀村 太朗¹、中嶋 庄太郎¹、小俣 康徳²、齋藤 琢²、田中 栄²、
土屋 遥香¹、藤尾 圭志¹

O1-5 発作間欠期に尿酸降下療法を行い両膝関節の可動域を改善し得た痛風の1例

¹埼玉医科大学リウマチ膠原病科、²埼玉成恵会病院リウマチ科

○梶山 浩¹、横田 和浩¹、荒木 靖人¹、舟久保 ゆう¹、秋山 雄次¹、三村 俊英^{1,2}

O1-6 多発関節炎で発症し診断に難渋したピロリン酸Ca結晶沈着症の一例

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 膠原病科

○小泉 謙、山本 有人、秋山 優弥、山下 裕之、金子 礼志

座長：梶山 浩（埼玉医科大学リウマチ膠原病科）

- O2-1 トシリズマブが奏功した脳動脈炎により失語と片麻痺を呈した全身性エリテマトーデスの1例

¹東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野（大橋）、²東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野（大橋）
○峰岸 靖人¹、内 孝文²、前澤 怜奈¹、今泉 ちひろ¹、小倉 剛久¹、亀田 秀人¹

- O2-2 CNSループス・抗リン脂質抗体の関与が疑われる特発性正常圧水頭症に対し、術後に免疫抑制療法での加療を行い歩行障害が改善した一例

帝京大学ちば総合医療センター リウマチ科
○佐藤 光、萩野 昇

- O2-3 抗GBM抗体を伴ったループス腎炎合併全身性エリテマトーデスに対して、多角的な免疫抑制療法が奏功し腎予後の劇的な改善が得られた1例

北里大学病院 リウマチ・膠原病内科
○治 和樹、伊野 和馬、次田 奈央、京田 俊介、長谷川 靖浩、田中 知樹、和田 達彦、
山岡 邦宏

- O2-4 免疫性血小板減少症（ITP）として長期の経過観察後、多発脳梗塞を発症した、全身性エリテマトーデス（SLE）関連後天性血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）の一例

横浜市立みなと赤十字病院 膠原病リウマチ内科
○田中 紗梨、齋藤 真一郎、近藤 文彬、萩山 裕之

- O2-5 両側副腎梗塞が血小板減少に先行したTAFRO症候群の一例

¹東京大学 医学部附属病院 アレルギー・リウマチ内科、²東京大学 医学部附属病院 病理部
○盛田 一智¹、土田 優美¹、亀村 太朗¹、工藤 仁孝²、深川 彰彦²、清水 寿顕¹、土屋 遥香¹、
藤尾 圭志¹

- O2-6 原発性Sjogren病を背景に発症した治療抵抗性の重症TAFRO症候群に対してRituximabが奏功した1例

¹埼玉協同病院 消化器内科、²埼玉協同病院 膠原病・リウマチ内科、³聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科、⁴埼玉協同病院 腎臓内科
○青砥 航介¹、松村 憲浩^{2,3}、肥田 徹⁴、守谷 能和¹

座長：安倍 能之（順天堂大学膠原病・リウマチ内科）

- O3-1 心臓を含む全身に多発腫瘍を形成したメトレキサート関連リンパ増殖性疾患(MTX-LPD)の1例

昭和医科大学横浜市北部病院

○ふきたじゅんpei 路田 淳平、井上 良、西見 慎一郎、三輪 祐介

- O3-2 肺腺癌を合併した多発性筋炎に抗癌剤加療後の免疫抑制療法が有用であった一例

¹国立病院機構 高崎総合医療センター 腎臓・膠原病リウマチ内科、²国立病院機構 高崎総合医療センター 呼吸器内科○なかさとみまさお 中里見 征央¹、伍井 友哉¹、渡辺 光治¹、中川 純一²

- O3-3 抗Tif1- γ 抗体陽性皮膚筋炎に胃原発悪性黒色腫を合併した一例

¹埼玉医科大学病院、²埼玉成恵会病院 リウマチ科○とやりくひろ 鳥家 陸寛、梶山 浩、酒井 左近、奥村 信人、横田 和弘、荒木 靖人、舟久保 ゆう、秋山 雄次、三村 俊英

- O3-4 抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎関連間質性肺炎に対する4剤併用療法で続発性肺胞蛋白症(sPAP)を生じたと思われる一例

¹国立国際医療センター 膜原病科、²国立国際医療センター 呼吸器内科、³さいたま赤十字病院 呼吸器内科○かわうえけん 川上 健¹、山下 裕之¹、若槻 実祐¹、秋山 優弥¹、原田 拓弥¹、磯田 杏実¹、小泉 謙¹、山本 有人¹、林 蘭子¹、三澤 祐太郎¹、大山 節子¹、泉 信有²、赤坂 圭一³、金子 礼志¹

- O3-5 間質性肺炎急性増悪の治療後に自己免疫性肺胞蛋白症を発症したシェーグレン症候群の1例

¹総合病院 国保旭中央病院 アレルギー・膜原病内科、²総合病院 国保旭中央病院 臨床病理科、³千葉大学 大学院 医学研究院 呼吸器内科学○すがなみそうたろう 菅波 創太郎¹、松浦 功¹、山本 裕貴¹、高橋 樹¹、村松 瑶紀¹、竹村 浩至¹、長谷川 隼²、川崎 剛³、鈴木 拓児³、加々美 新一郎¹

- O3-6 竹節状声帯を呈した混合性結合組織病の一例

国家公務員共済組合連合会虎の門病院腎センター内科・リウマチ膜原病科

○よしもとまさとし 吉本 雅俊、諫訪部 達也、山内 真之、水野 裕基、大庭 悠貴、長谷川 詠子、乳原 善文、和田 健彦、澤 直樹

ランチョンセミナー④

座長：保田 晋助（東京科学大学医学部膠原病・リウマチ内科学）

共催：アストラゼネカ株式会社

- LS4 Treat to Target (T2T) に基づくSLE診療におけるアンメットメディカルニーズとその解決に向けた生物学的製剤のBest Use

筑波大学 医学医療系 膠原病リウマチアレルギー内科学

坪井 洋人、佐藤 亮太、清水 優、杉田 稔貴、浅島 弘充、近藤 裕也、松本 功

13:30-14:30

一般演題④ 血管炎症候群①

座長：長坂 憲治（市立青梅総合医療センター）

- O4-1 壊死性臍炎・臍仮性囊胞・小腸閉塞を合併した顕微鏡的多発血管炎の一例

独立行政法人国立病院機構栃木医療センターリウマチ膠原病内科

○花岡 亮輔、萩野谷 敏子、谷口 夢子

- O4-2 顕微鏡的多発血管炎の治療中に右眼窩の多発血管炎性肉芽腫様の肉芽腫性病変による眼瞼下垂、複視を来した一例

東海大学八王子医学部付属八王子病院 リウマチ内科

○吉田 有希、鳥居 弘美、小島 梓、佐々木 則子、佐藤 慎二

- O4-3 咽頭浮腫にアダリムマブが著効した骨髄異形成症候群を合併した多発血管炎性肉芽腫症の一例

¹総合病院 国保旭中央病院 アレルギー・膠原病内科、²同 臨床病理科、³同 血液内科○山本 裕貴¹、松浦 功¹、菅波 創太郎¹、高橋 樹¹、村松 瑶紀¹、竹村 浩至¹、長谷川 隼²、清水 亮³、加々美 新一郎¹

- O4-4 サルモネラ腸管外感染の治療歴を有するHLA-B52陽性大動脈炎の症例

市立青梅総合医療センター

○傳田 竜之介、戸倉 雅、黒崎 祥子、長坂 憲治

- O4-5 開口障害、複視を初発症状とし、FDG-PET/CTおよび造影MRIで顎関節炎を示した巨細胞性動脈炎の一例

¹国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 膠原病科、²国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 臨床検査科○若槻 実祐¹、磯田 杏実¹、原田 拓弥¹、満尾 晶子²、山下 裕之¹、金子 礼志¹

- O4-6 初診時に手術適応の上行大動脈瘤と大動脈弁閉鎖不全症を認めた難治性の高安動脈炎に対して、内科的加療で炎症を沈静化し外科的治療につなげた23歳女性の一例

東京科学大学病院 膠原病・リウマチ内科

○木村 仁紀、山本 晃央、松澤 大輝、姜 明里、板倉 卓司、梅澤 夏佳、齋藤 鉄也、細矢 匠、保田 晋助

14:40-15:40

一般演題⑥ 血管炎症候群②

P.88

座長：倉沢 隆彦（埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科）

- O6-1 慢性好酸球性肺炎の病態から血管炎期への移行が示唆されたANCA陰性EGPAの1例

慶應義塾大学 リウマチ膠原病内科

○堀江 英顯、武井 裕史、秋山 光浩、近藤 泰、菊池 潤、藤枝 雄一郎、金子 祐子

- O6-2 ベンラリズマブを併用した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）の3例

埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科

○倉沢 隆彦、小坂 泰司、佐々木 優季、吉永 正一、柴田 明子、酒井 亮太、天野 宏一、花岡 洋成

- O6-3 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対してステロイドパルス療法後に一過性視力低下を呈した1例

昭和医科大学 リウマチ膠原病内科

○吉玉 優美、猪狩 雄哉、道津 侑大、井上 優子、矢嶋 宣幸

- O6-4 乾癬性関節炎に合併したANCA陰性の中・小型血管炎の1例

東京都立多摩総合医療センター リウマチ膠原病内科

○森澤 淳司、高橋 彩理、小森 宏太郎、寺島 侑希、飯田 雅博、上田 佳孝、高増 英輔、大西 香絵、永井 佳樹、横川 直人

- O6-5 Gradenigo症候群で発症したANCA関連血管炎性中耳炎(OMAAV)の1例

船橋市立医療センター リウマチ膠原病内科

○佐藤 琢哉、山口 裕之、浦田 みやこ、清水 英樹

- O6-6 皮膚生検で診断した顕微鏡的多発血管炎

群馬県済生会前橋病院 腎臓リウマチ内科

○三島 敬一郎、内藤 聖、高梨 ゆり絵、半田 広海、馬場 正仁、木村 隼人

15:50-16:50

一般演題⑧ 腎障害

P.94

座長：竹内 陽一（群馬大学大学院医学系研究科腎臓・リウマチ内科学）

- O8-1 IgA腎症を合併した抗糸球体基底膜腎炎の一例

公立藤岡総合病院 腎臓・リウマチ膠原病内科

○土屋 俊平、佐藤 俊介、茂木 伸介、太田 史絵、塙田 義人

O8-2 多彩な自己抗体を認め、腎組織所見によりIgA沈着が併存した顕微鏡学的多発血管炎と診断された一例

¹国立国際医療センター 膜原病科、²同 臨床検査科、³同 腎臓内科、⁴虎の門病院分院 腎センター内科

○^{いそだ あみ} 磯田 杏実¹、秋山 優弥¹、林 繭子¹、三澤 佑太郎¹、山本 有人¹、大山 節子¹、原田 拓弥¹、
山下 裕之¹、満尾 晶子²、高野 秀樹³、乳原 善文⁴、金子 礼志¹

O8-3 IgA沈着を伴う顕微鏡的多発血管炎を併発した全身性硬化症の一例

日本医科大学 アレルギー膜原病内科

○^{みうら ともや} 三浦 友也、白井 悠一郎、内山 竣介、吉田 晃、五野 貴久、桑名 正隆

O8-4 関節リウマチに対するAdalimumab長期投与中に管内増殖変化を伴うIgA腎症を発症した一例

¹虎の門病院分院腎センター内科リウマチ膜原病内科、²虎の門病院病理部、³東京科学大学人体病理学分野

○^{あさかわ じょうた} 浅川 条汰¹、乳原 善文¹、大庭 悠貴¹、水野 裕基¹、山内 真之¹、諏訪部 達也¹、
長谷川 詠子¹、和田 健彦¹、河野 圭²、大橋 健一³、澤 直樹¹

O8-5 関節リウマチの加療中に合併した抗糸球体基底膜腎炎

群馬県済生会前橋病院 腎臓リウマチ内科

○^{みしま けいいちろう} 三島 敬一郎、高梨 ゆり絵、半田 広海、馬場 正仁、木村 隼人

O8-6 経過中に近位尿細管障害による電解質異常を呈した顕微鏡的多発血管炎の一例

¹国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 リウマチ膜原病内科、²国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 病理部

○^{や まき さくらこ} 八木 櫻子^{1,2}、長谷川 詠子¹、谷水 晉¹、井上 典子¹、関根 章成¹、田中 希穂¹、河野 圭²、
大橋 健一²、澤 直樹¹、和田 健彦¹

17:00-17:30

日本リウマチ学会/日本呼吸器学会/日本感染症学会

ジョイントセッション

P.52

座長：奥 健志（東海大学医学部内科学系リウマチ内科）

関節リウマチ患者における肺炎球菌感染症とワクチンによる予防の重要性

埼玉医科大学医学部 国際医療センター感染症科・感染制御科

関 雅文

第5会場

08:50-09:50

学生・研修医① 血管炎症候群

P.100

座長：高桑 由希子（聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科）

Y1-1 抗糸球体基底膜抗体陽性の多発血管炎性肉芽腫症の一例

埼玉医科大学 総合医療センター リウマチ・膠原病内科

○平岡 采夏、青木 拓海、佐々木 優李、小坂 泰司、吉永 正一、柴田 明子、酒井 亮太、倉沢 隆彦、花岡 洋成、天野 宏一

Y1-2 新型コロナウイルス持続感染にクリプトコッカス症を併発した多発血管炎性肉芽腫症の一例

¹公立藤岡総合病院 腎臓・リウマチ膠原病科、²公立藤岡総合病院 整形外科

○村上 開人¹、太田 史絵¹、佐藤 俊介¹、土屋 俊平¹、坂根 英夫²、茂木 伸介¹、塚田 義人¹

Y1-3 FDG-PET検査により大腿動脈炎が確認された跛行を主訴とする巨細胞性動脈炎の一例

群馬大学 医学部 腎臓・リウマチ内科学

○飯島 拓真、山口 雅史、中村 美紀、木下 雅人、諏訪 純也、浜谷 博子、竹内 陽一、池内 秀和、金子 和光、廣村 桂樹

Y1-4 側頭動脈超音波検査で所見がなく生検で診断に至った巨細胞性動脈炎の一例

埼玉医科大学 総合医療センター リウマチ・膠原病内科

○安東 佑貴、青木 拓海、佐々木 優李、小坂 泰司、吉永 正一、柴田 明子、酒井 亮太、倉沢 隆彦、花岡 洋成、天野 宏一

Y1-5 尋常性乾癬に対するリサンキズマブ投与中に発症した巨細胞性動脈炎の一例

¹自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター、²自治医科大学附属病院 アレルギー・リウマチ科、³自治医科大学附属病院 皮膚科

○佐藤 希衣¹、小峰 弘寛²、永渕 泰雄²、山本 翔太郎²、中村 潤²、大槻 マミ太郎³、佐藤 浩二郎²

10:00-11:00

学生・研修医② 悪性腫瘍/その他

P.103

座長：山下 裕之（国立国際医療センター病院）

Y2-1 びまん性大細胞型B細胞リンパ腫を合併した抗TIF1- γ 抗体陽性皮膚筋炎の一例

獨協医科大学 リウマチ・膠原病内科

○豊田 英俊、中村 海人、江田 尋香、木村 圭汰、小松 紗良、吉田 雄飛、檜山 知佳、長谷川 杏奈、宮尾 智之、田中 彩絵、藤井 渉、新井 聰子、前澤 玲華、有馬 雅史、池田 啓

- Y2-2 下顎歯肉癌に対するPD-L1阻害薬ペムブロリズマブ投与中に発症した再発性多発軟骨炎の一例
 東海大学 医学部 内科学系リウマチ内科学
 ○唐澤 昌樹、太田 裕一朗、杉山 麻衣、石井 あゆみ、山田 千穂、奥 健志
- Y2-3 骨髓異形成症候群にリウマチ性多発筋痛症を併発した一例
 虎の門病院分院 腎センター内科
 ○直井 春海、吉本 雅俊、山口 亨祐、大庭 悠貴、水野 裕基、山内 真之、諏訪部 達也、乳原 善文、和氣 敦、澤 直樹
- Y2-4 骨髓異形成症候群に関連したリウマチ性疾患が疑われたが、自然軽快した1例
 群馬大学 医学部 腎臓・リウマチ内科学
 ○臼井 稚葉、今井 陽一、曲 陸旦、佐藤 広宣、木下 雅人、諏訪 純也、浜谷 博子、竹内 陽一、池内 秀和、金子 和光、廣村 桂樹
- Y2-5 演題取り下げ

11:10-12:10

学生・研修医③ 成人スチル病/その他

P.106

座長：前澤 玲華（獨協医科大学 リウマチ・膠原病内科）

- Y3-1 アザチオプリン過剰曝露を契機に生じた稀な合併症の一例
¹聖マリアンナ医科大学 臨床研修センター、²聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科
 ○渡邊 江里子¹、石崎 克樹²、鈴木 豪²、松井 隆之²、安藤 貴泰²、鈴木 翔太郎²、櫻井 恵一²、殿岡 久美子²、高桑 由希子²、永渕 裕子²、大岡 正道²、川畑 仁人²
- Y3-2 多関痛で経過観察中、1年後に成人発症スチル病を発症した症例
 東海大学八王子病院リウマチ内科
 ○鳥居 弘美、小島 梓、吉田 有希、佐々木 則子、佐藤 慎二
- Y3-3 血漿交換療法が奏功した難治性成人スチル病の一例
 埼玉医科大学 総合医療センター リウマチ・膠原病内科
 ○野原 万峯子、青木 拓海、佐々木 優李、小坂 泰司、吉永 正一、柴田 明子、酒井 亮太、倉沢 隆彦、花岡 洋成、天野 宏一

Y3-4 全身性強皮症及び特発性炎症性筋疾患の重複症候群に血球貪食症候群を併発した一例

彩の国東大宮メディカルセンター

○久勝 康史、森 浩章、高木 賢治、斎藤 桐子、眞弓 翔三朗

Y3-5 結膜浮腫を伴う脳静脈洞血栓症で発症し、治療経過中にマクロファージ活性化症候群を併発した全身性エリテマトーデスの一例

¹聖マリアンナ医科大学 臨床研修センター、²聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科

○梅津 健¹、鈴木 翔太郎²、花岡 黎²、四柳 敬之²、西島 孝治²、櫻井 恵一²、殿岡 久美子²、大岡 正道²、川畑 仁人²

12:20-13:20

ランチョンセミナー⑤

P.63

座長：門野 夕峰（埼玉医科大学整形外科・脊椎外科）

共催：あゆみ製薬株式会社

LS5 バイオシミラー（バイオ後続品）とオーソライズド・ジェネリック
その基本、最近の知見、医療制度での位置づけ

自治医科大学 地域臨床教育センター 兼 内科学講座 アレルギー膠原病学部門
佐藤 健夫

13:30-14:30

一般演題⑤ 成人スチル病/ベーチェット病

P.85

座長：桐野 洋平（横浜市立大学大学院医学研究科 幹細胞免疫制御内科学）

O5-1 活動期に喉頭潰瘍を伴った難治性Behçet病の1例

¹東京女子医科大学 膠原病リウマチ内科、²東京女子医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

○阿部 沙蘭¹、高田 秀人¹、小泉 純子²、中西 遥²、稻垣 茉里子¹、原 奈都子¹、市村 裕輝¹、根田 直子¹、岡本 祐子¹、稻井 俊太²、勝又 康弘¹、田中 繁一¹、川口 鎮司¹

O5-2 高血圧緊急症を契機に血管ベーチェット病と診断した一例

日本医科大学武藏小杉病院 リウマチ・膠原病内科

○川端 真里佐、光永 周平、岳野 光洋

O5-3 大血管炎様の血管壁肥厚を認めたベーチェット病の一例

東邦大学 医学部 内科学講座 膠原病学分野（大森）

○相川 優大、川添 麻衣、田中 崇、古川 果林、山田 善登、脇谷 理沙、渡邊 萌理、村岡 成、杉原 育彦、南木 敏宏

O5-4 急速に進行する心不全を合併した成人発症スチル病の一例

東京大学 医科学研究所 附属病院アレルギー免疫科

○上原 昌晃、一井 佑太、山本 元久

- O5-5 トリリズマブ不耐の成人発症スチル病に対してカナキヌマブが有効であった一例
筑波大学 医学医療系 膜原病リウマチアレルギー内科学
○菊池 きくち れいな 怜菜、北田 彩子、川島 典奈、柴崎 史行、杉田 稔貴、大山 綾子、安部 沙織、
浅島 弘充、近藤 裕也、坪井 洋人、松本 功
- O5-6 難治性で再燃を繰り返すSchnitzler症候群に対してリツキシマブが奏功した1例
杏林大学 医学部 腎臓・リウマチ膜原病内科
○日比野 ひびの さとる 智、池谷 紀子、石川 まりな、久木元 光、西岡 典宏、川嶋 聰子、川上 貴久、
岸本 暢将、駒形 嘉紀

14:40-15:40

一般演題⑦ 関節炎/その他

P.91

座長：土田 優美（東京大学 医学部附属病院 アレルギー・リウマチ内科）

- O7-1 乾燥弱毒生水痘ワクチン接種後にワクチン株（岡株）による水痘を発症した関節リウマチ症例
¹自治医科大学附属病院アレルギー・リウマチ科、²自治医科大学附属病院皮膚科、³菅井皮膚科パークサイドクリニック、⁴藤田医科大学医学部小児科学
○佐藤 さとう たけお 健夫¹、中野 尚美²、神谷 浩二²、小宮根 真弓²、菅井 順一^{2,3}、吉川 哲史⁴、
佐藤 浩二郎¹
- O7-2 分類不能脊椎関節炎として治療を開始後に乾癬性関節炎の診断となった一例
順天堂大学 医学部 膜原病内科
○渡邊 裕大、古澤 星子、川又 望実、多田 久里守、山路 健、田村 直人
- O7-3 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症と当初診断された肝蛭症の1例
¹国立国際医療センター 膜原病科、²宮崎大学医学部 感染症学講座 寄生虫学分野
○青崎 あおざき しんたろう 真太郎¹、若槻 実祐¹、中道 悠介¹、原田 拓弥¹、山下 裕之¹、小久保 美緒²、
丸山 治彦²、金子 礼志¹
- O7-4 急性心筋梗塞を発症し免疫抑制療法が奏功した冠動脈周囲炎の1例
¹杏林大学医学部附属病院 腎臓・リウマチ膜原病内科、²杏林大学医学部附属病院 循環器内科
○篠 しの 葉月¹、池谷 紀子¹、永松 佑基²、久木元 光、西岡 典宏¹、川嶋 聰子¹、鮎澤 信宏¹、
川上 隆久¹、岸本 暢将¹、駒形 嘉紀¹
- O7-5 リツキシマブが有効であった自己免疫性好中球減少症の1例
帝京大学医学部 内科
○中島 なかじま るい 墓、大久保 麻衣、浅子 来美、菊地 弘敏、河野 肇

座長：近藤 泰（慶應義塾大学医学部リウマチ・膠原病内科）

O9-1 関節リウマチ患者の皮膚終末糖化産物はHAQスコアと関連する

医療法人 井上病院

○金子 哲也、井上 誠、土田 興生、野島 美久、田村 靖之、大倉 千幸、松尾 亮平、
三富 博文

O9-2 高齢関節リウマチ患者におけるオゾラリズマブの投与後24週時の有効性と薬剤減量効果～群馬県多施設共同臨床研究GRNの結果から～

¹慶友整形外科病院、²伊勢崎福島病院、³井上病院、⁴よねもと整形外科リウマチ・骨粗鬆症クリニック、
⁵群馬リウマチクリニック、⁶群馬大学医学部附属病院、⁷藤岡総合病院

○綾部 敬生¹、竹内 公彦²、松下 正寿²、大塚 恵子²、田村 靖之³、金子 哲也³、大倉 千幸³、
米本 由木夫⁴、岡部 興一⁴、磯 武信⁵、須藤 貴仁⁶、坂根 英夫⁷

O9-3 関節リウマチ(RA)患者におけるニューモシスチス肺炎(PCP)の予後予測因子に関する検討

¹北里大学医学部リウマチ・膠原病内科学、²北里メディカルセンターリウマチ・膠原病内科学

○次田 奈央¹、松枝 佑¹、岩楯 洋祐¹、京田 俊介¹、治 和樹¹、伊野 和馬¹、長谷川 靖浩¹、
田中 知樹¹、和田 達彦¹、田中 住明²、山岡 邦宏¹

O9-4 巨細胞性動脈炎診断におけるPET-CTの有用性の検討

防衛医科大学校病院

○井上 直紀、多田 堅央、藤澤 梨花、小林 真一、細野 裕司

O9-5 全身性エリテマトーデスにおける凝固第13因子の臨床的意義の解析

総合病院国保旭中央病院 アレルギー・膠原病内科

○松浦 功、加々美 新一郎

第6会場

8:30-11:55

ハンズオンセミナー① 関節超音波セミナー初級編

P.71

トレーナー

池田 啓（獨協医科大学 リウマチ・膠原病内科）

小笠原 倫大（順天堂大学 膜原病・リウマチ内科）

小倉 剛久（東邦大学大橋病院 膜原病リウマチ科）

近藤 泰（慶應義塾大学 リウマチ・膜原病内科）

瀬戸 洋平（あづまりウマチ・内科クリニック）

中込 大樹（山梨大学 リウマチ膜原病内科）

峯岸 薫（横浜市立大学 血液・リウマチ・感染症内科）

三好 雄二（多摩総合医療センター リウマチ膜原病内科）

13:40-16:45

ハンズオンセミナー② 血管超音波セミナー初級編

P.72

トレーナー

中込 大樹（山梨大学 リウマチ膜原病内科）

三好 雄二（多摩総合医療センター リウマチ膜原病内科）

河本 敏雄（順天堂大学医学部 膜原病・リウマチ内科）

高増 英輔（多摩総合医療センター リウマチ膜原病内科）

間渕 央子（山梨大学 リウマチ膜原病内科）

